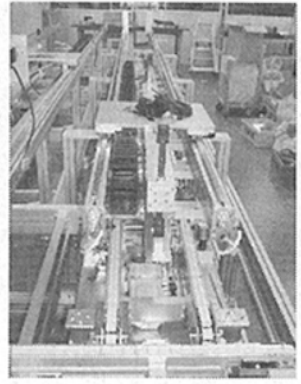




N K E

中村 道一 社長

た2〜3年前からの更新需要と重なり活況な受注状況だ」
11年の抱負、目指す事業展開とは。
「今年の経営指針として、新しい扉を開く、をテーマに掲げた。これまで実行に移せなかった計画を確実に行動に移し成果に結びつけていく。とくにハン関連機器に加え、多製品展開において、設計



工場内の流れを効率化する「マテハンユニット」に設計技術者を配置し、提案作業を顧客に近い所で完結できるような体制を構築した。今後は要員拡充を進め

2011年を迎え、市場動向に変化は。「10年度はスタートから引き合いに明るさが戻り、下期入り以降の停滞感も危惧したほどの影響もなく、一定の成果を得て終えそぞだ。リーマン・ショック後の萎縮(いしゆく)した数年間と比較すると市場には確かな回復感がある。さらに現状、11年度に向けた新たな引き合いも聞かれるようになっていった」

が活発化している。当社メインのコンベヤーや移載ロボットなど各種マテハン関連機器に加え、多

行に移せなかった計画を確実に行動に移し成果に結びつけていく。とくに製品展開において、設計

の最終年。再び業態を成長路線に乗せるためにプロジェクトチームを発足し新中計構築に入った」

「顧客ニーズをつかむニーズを把握するために11年中に拠点を構築する計画だ」

顧客満足を徹底追究

営業拠点 拡充など 声 聞く機会増やす

様々なユニット部品がシステム変更に伴い引き合いが出始めている。中でも、10数年前に導入設置した省配線システムが更新時期を迎えている。配線関連の改修は設備を止めての作業となり発注が遅れがち。動きが無かつ

者のアイデアやカタログの品ぞろえを重視するのではなく顧客ニーズを最優先した開発への取り組みを強める。ハードの提供だけでなく技術的な信頼やサービス面での顧客満足度を追求する。11年度は3力年中期経営計画

「技術者が定期的に営業マンと同行し顧客の声を聞く機会を増やす。そのためにも営業拠点の拡充と人材のマネジメント強化を図る。昨年、関東エリアの営業力強化を目的に既存拠点を再編。メインとなる埼玉事業所

「新たな事業展開に向けて次期経営管理職を数人指名し育成している。中間管理職には全体の業容を見渡せるマネジメンソト力を重視し、内向きから外向き志向に転換を図っている。また、新人教育においても入社3年目の人材が指導にあたる仕組みなどを作り組織の連携強化を図っている」

「自動車関連業界を中心に製造設備の更新需要

「回復基調にある業界および導入設備とは。自動車関連業界を中

線関連の改修は設備を止めての作業となり発注が遅れがち。動きが無かつ

度は3力年中期経営計画

「新たな事業展開に向けて次期経営管理職を数人指名し育成している。中間管理職には全体の業容を見渡せるマネジメンソト力を重視し、内向きから外向き志向に転換を図っている。また、新人教育においても入社3年目の人材が指導にあたる仕組みなどを作り組織の連携強化を図っている」